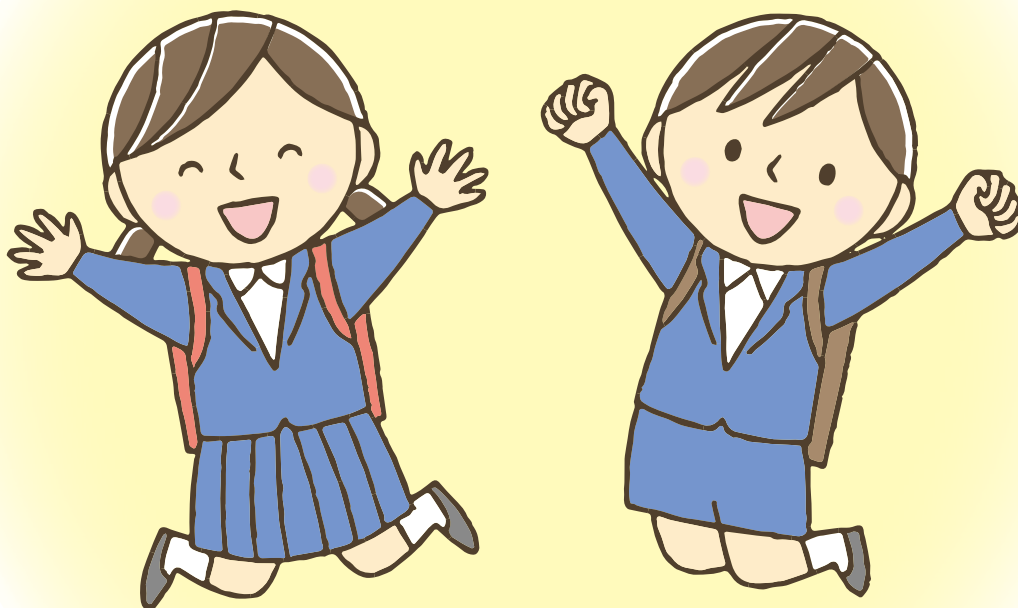


か てい きょうい く
家庭教育 **3** のポイント

小学校4年生までの保護者向け



岡山市教育委員会

子どもは、多様な人々に関わったり自然や文化を五感で感じたりすることを通して成長していきます。また、共感してくれる人がいることで自分を大切な存在として認めてもらったと感じます。

とく か てい はぐく たいせつ 特に家庭で育みたい大切にしたいもの

コミュニケーション力

- ◆まわりの人とのかかわりをとおして、自分の主張をするだけではなく、相手の思いを理解する力です。
- ◆人とのつながりの基礎となるもので、家族や地域の人、友だちとのふれあいの中で育まれます。

自己肯定感

- ◆「自分が大切と思える子」は、「他の人も大切にできる子」に育ちます。
- ◆いいところだけではなくうまくいかなかったことも、保護者や周囲の人に受け入れられていると感じるとき、自己肯定感が育まれます。



はぐく
この2つを育むために、
つぎ
次の3つのことを心がけましょう

1. あいさつをしましょう

あいさつは、あたたかい心を育てる大切な家庭教育です。あいさつは、人と人とのつながりの第一歩であり、人と人とのコミュニケーションの基礎となるものです。あいさつで伝わる思いやりや愛情は、生涯その子の中に生きる感性になっていきます。まず、家庭の中からあいさつを始め、さらに、近所の人や地域の人たちへのあいさつへ広げていきましょう。

ひょうじょう どうさ こころ つた 表情や動作で心伝える

- 表情に変化をつけましょう。
- 動作を加えたり、抱きしめたりなど、体から感情を込めましょう。
- 立ち止まり、目の高さを合わせて、ほほえみながらあいさつをしましょう。



あたたかいことばは、思いやりや愛情などとして、生涯その子の中に生きる感性になっていきます。

2. 家庭の中で役割をもたせましょう

手伝いをやらせようとする、子どもは関心をもちません。「いっしょに運ぼう!」「いっしょに持って!」など、はじめは親子でいっしょに遊ぶ気持ちで始めましょう。役割をきちんと果たしていくうちに責任感が芽生えます。できるだけ見守り、必要に応じて助けてあげると、「成功した!」と子どもが感じられる体験になります。子どもが年齢に応じた役割を持つことは、自分の力を発揮する機会になり、家族の役に立つ喜びを実感し、自己肯定感を高めるよい機会になります。



子どもを見守り認める

- 手伝いたいという意欲を大切にしましょう。
- 役割を果たしている様子を見守りましょう。
- 様子が見れなくても、子どもから話を聞き頑張っていることを認めてあげましょう。

うまくできたかではなく、その子の存在とがんばりを認めることが大切です。

3. 家族で地域行事や体験活動に参加しましょう

地域行事に参加すると、子どもは地域のことがよくわかり親しみがわき、地域の大切さを実感をもって学ぶことができます。そして、家族以外の人とふれあうよい機会にもなり自立心を高めることができます。また、身近な暮らしの中で、親子でいっしょに自然に触れる、文化に触れる、人に触れるなど五感を通した体験をすることは、とても貴重なことです。

家族でいっしょに参加を

- 地域の祭りや運動会など、家族で参加しやすい活動から始めましょう。
- たとえ短時間でも、家族で一緒に参加をしましょう。



子どもにとって体験活動は学びの原動力となる好奇心を育み、大きな成長の機会となります。

主な子育て支援機関



地域こども相談センター（各福祉事務所内）

子育てや家庭に関する身近な相談窓口

- 子育ての悩み、心配、不安などについて
- 子どもの虐待、不登校などについて

北区中央地域こども相談センター	086 - 803 - 1824
北区北地域こども相談センター	086 - 251 - 6521
中区地域こども相談センター	086 - 901 - 1234
東区地域こども相談センター	086 - 944 - 0131
南区西地域こども相談センター	086 - 281 - 9652
南区南地域こども相談センター	086 - 261 - 7127

保健所・保健センター

- 妊産婦健康相談
- 子育ての不安や悩みに関する電話育児相談
- 児童精神科医による情緒・精神発達に関する乳幼児こころの相談
- 離乳食講習会、乳幼児健康診査、おやこクラブに関すること など

健康づくり課	086 - 803 - 1264
北区中央保健センター	086 - 803 - 1265
北区北保健センター	086 - 251 - 6515
北区北保健センター 御津・建部分室	086 - 722 - 1114
中区保健センター	086 - 274 - 5164
東区保健センター	086 - 943 - 3210
南区西保健センター	086 - 281 - 9625
南区南保健センター	086 - 261 - 7051

こども総合相談所（児童相談所）

☎ 086-803-2525

- 子どもの虐待 ○ 養育の問題 ○ ことばの発達
- その他心身の障害、非行、性格行動、不登校 など

児童家庭支援センター どんぐり

（児童養護施設若松園に附置）

☎ 086-237-7373 / 090-9417-7300

- 子どもと家庭の困りごとに関する相談

発達障害者支援センター ひか☆りんく

☎ 086-236-0051

- 発達障害児者の生活や就労に関する相談
- 子どもの発達や子育てについての相談 など

教育相談室

☎ 086-207-2170

- 不登校や集団への適応に関する相談
- ことばや発達障害等に関する相談など

地域子育て支援拠点

（市内の保育園・認定こども園、児童館など44か所）

- 乳幼児がいる子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場所を提供
- 拠点だよりの発行や育児講座の開催 など

のびのび親子広場

（岡山市内の市立幼稚園・認定こども園）

- 子育て相談 ○ 未就園児の保育活動
- 園庭や園舎の開放 など

民生委員・児童委員、愛育委員など

- 保護者と子どもの福祉に関わる様々な相談

公民館・図書館

- 子育てをしている保護者同士の交流の講座
- 読み聞かせ・工作・手遊びなど子育てに関するもの

このパンフレットは、岡山市社会教育委員会議提言「家庭の教育力向上に向けての方策について」を基に作成されています。

【お問い合わせ】

岡山市教育委員会事務局生涯学習課
TEL ☎:086-803-1606

家庭教育支援事業の
ホームページはこちら

